

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1324 2025/03/06 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

残念ながら民主勢力であることが、良い人格の保障にはならない！

●十分に愛された子は自己愛を持ち、それはやがて他者への愛に変わる

ここ数回、かなり悲観的な内容を続けています。民主勢力の中で異論はあっても、話し合いを重ねて、合意を拡げて行く事の大切さを、理解せず他者を攻撃し続ける人々との取り組みを続けながら、とてつもない徒労感に襲われていることの反映ですので、お許し願いたい。

先週の「八鹿高校事件」広島版とも言える「戸手商事件」を契機に1970年代の中盤以降、県教委・高教組・解同が一体となって、県立学校現場を支配する中で私たちは、「それは「部落解放」とは、逆行することであって、民主主義を徹底することこそ、差別解消の筋道だ」と言い続けてきました。

それを支えたのは、全県で同じ思いで頑張っている人々の存在でした。それが何よりの励ましでありましたし、戦前の日本共産党があらゆる弾圧にも屈しないで、「侵略戦争反対」「天皇制反対」を掲げ続けたこと、死を賭した先人の闘いが時を超えて勇気づけてくれたことを思い出します。

●「すべての陣営が、大勢に順応して、右に左にある中で、日本共産党だけは、創立以来、北斗七星のように動かぬ一点を守りつづけてきた。知識人にとって、それを見ることによって、自分がどのくらい時勢に流されたか、自分がどれほど駄目な人間になってしまったかを計ることができる尺度となった」(鶴見俊輔「現代日本の思想」岩波新書)

その北斗七星にも例えられた集団の中にも、様々な歪みが生じていることは、それだけ大所帯になったことの反映でもあるし、現在の閉塞状況をまだ打ち破るには至っていない状況にも一因があるような気がします。

いずれにしても、人間の解放を目指す集団において、他人を傷つけ排除し、ある施設の長として長期にわたって支配的立場にいたその人は、にこやかに元気に振る舞い、多くのひとからは「良い人」と思われてきたし、現在もそう思っている人の方が多いかもしれません。しかし、現実には起こっていることから明らかになってきた事は、その裏の顔は、実は「冷たい」ものであり、精神的に傷つけ排除され、去っていった人が何人もいることによろしく気付いてきました。

●「目的善也や、私心無かりか？」

どこかで、見て心に残っているスローガンです。つい、私たちは美味しい話や、うまい儲け口に乗ってしまうものです。誰だって、楽しく面白く生きて行きたいものです。「でも……」、と「北斗七星」を見ると我に返ります。

「天知る 地知る 我知る」は、「沈まぬ太陽」の主人公の恩地元のモデルとなった小倉寛太郎さんの座右の銘ですが、賄賂を贈る側の「誰も見ていませんからどうぞ受け取って」に対して、「天地の神が見ているし、何より自分自身がこの悪事を知っているではないか」と断った故事による言葉どおり、誰も知らない行為等ありません。自分自身を偽ることは出来ません。

「真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んずる」主権者を育てることを生業としてきた私たちの矜持です。

(村井 義幸)



▼今週の「六文銭」は
明るく締めたいです▼
思い起こせば、学校で
も、私の思いが伝わら
なくて、本当に苦しい局面
も、沢山ありました。それで
も本気の訴えをすれば、必ず
それに応えてくれる生徒たち
が居ました▼葦陽高校定時制
でも、反発するクラスの生徒
たちに「君たち自身の力を精
一杯発揮できる機会としてこ
の文化祭を見て欲しい」と訴
えて、理科準備室に帰ってい
たら、しばらくして「先生、
自分たちは文化祭の企画を考
えたよ」と言ってきたけれど
した▼誠之館高校で、閉会時
間についてのトラブルが発生
した時も、講堂に集まった生
徒たちに向かって、「このトラ
ブルの責任は、私にありま
す。しかし、だからこれま
で、必死で努力してきた生徒
会執行部や、クラスでの団結
や取り組みの成果を否定する
ようなことは、しないで欲し
い」「記念祭(と呼んだ)は君
たちが作り上げた宝物なのだ
から」と訴えると、会場から
拍手がわいたことを思い出し
ます▼本当の願いや思いは必
ず伝わるのですから。